

会社の山仲間と北八ヶ岳の蓼科山～双子山へ山歩きに行ったときのこ
と。双子池ヒュッテを出たところの林道で、ふと足元に目をやると、動物
の死体が転がっている。お、ヤツ！野ネズミか？ と思ってよく見
ると…おおお～～～ツ オコジョだああああ～～～つ いっぺんにテ
ンション100%跳ね上がった比較的新しかったので大丈夫だろうと早
速ハンカチに包んでビニール袋に収納。昼前頃に寄ったサービスエリア
で保冷材を買って一緒に包む。まあ、車に轆かれたらしく、目玉が飛び
出していて頭骨も壊れている可能性はあるものの、それでもオコジョは
オコジョ。たとえ死体でも間近で見るとは初めてだ。いやあ これは今
回の山行で最高の収穫である。一応会社の山仲間は、僕がこういう人間
であるということは知っている。(団員H.M)

仕事の車で走っている最中に、和歌山
市内で、車にひかれてお亡くなりになっ
ている(ネコ、タヌキ、ドバト、キジバ
ト、カラス、アカミミガメ)を発見し、
場所を覚えておいて仕事が終わってから
回収に向かうことが多いです。(行っ
たら、すでになかったことも…)会社
の車なので仕事中の回収は、あのおい
が車に残るのも困るし、同乗者にどんび
きされると思うのでしてません。ちなみ
に同乗者は目が御不自由な方が多い(鍼
灸・マッサージ師さん)ため、遺体の確
認はされていません。話していて面白
がってくださった方がいらっしやいま
したので、「アカミミガメが道のど真ん中
でつぶれてるの拾ってきていいですか
～」って聞いたら「やめてください」と
いわれました。
(団員N.Y)

なにわホネホネ团的 死体回収エピソード

File No.001

行く手に動物の死体が落ちています。 あなたならどうしますか 拾う!!

うちの近所で大きな猫が死んでいた。車にはねられたようだ。幸い、
周りに人はいない。何気なく近付いて、何気なく猫を拾い、そのまま何
気なく家へ入る。そしてそれを持ってあくる日、会社に出勤。ロッカー
にしまいこむ。仕事が終わってネコをかばんに入れて博物館へ。冬だっ
たので、誰にも気づかれることは無かった。(団員H.M)

岸和田の駅前である冬の日、ピックアップしてくれる友人の車を待つ
ていました。すると目の前の植え込みの影に白黒のにゃんこが。。少し
鼻血を出している程度で、きれいなご遺体。拾いたい・・・しかし現場
は朝の通勤時間帯にあたっており、ひっきりなしに車や人が通る。そこ
で、いかにもそのにゃんこがご存命であるようなふりをして近づき、抱
き上げて、「おーおーおーおー、今日は寒いやねええ」などと語りかけ
ながら、硬直したご遺体の様子が分からないように、ゆりかごのごとく
優しくあやしつづけた。無論、友人の車にも、あやししながら乗り込んだ。
「んー何その猫……ギャー！」(団長N)

会社の工場で、後輩が「Mさん、排水溝でカモが死んでるけど、どう
する？」と教えてくれた。勤務中にもかかわらず、拾いに行く、ところ
を先輩に見付かる。「お前、そんなもんよう拾うなあ。気色悪い」とい
いながらいやそーな顔をする先輩。「いや、こういうのは貴重ですから」
といいながら、番線でフックを作ってカモを引き上げ、レジ袋にいれ、
そそくさとロッカールームへ。幸い誰にも見付からず、自分のロッカー
にしまい込み、終業を待つ。そして、何くわに顔をして、カモを鞆に入
れ、そのまま社バス、電車を乗り継ぎ、博物館へ。(団員H.M)

会社に出勤して、更衣室の玄関前でヒヨドリが落ちていたのを発見。
私の前後にも人がいたのですが、何気なく何かゴミでも拾うようさつ
と拾い上げ、何も無いような顔してそのままロッカー室へ。別にあと
で何も言われなかったので、おそらく誰も気づいていなかったはず。(団
員H.M)

江坂公園で2羽のカラスがドバトを食べていた。幸い連れがいなかっ
たので骨はもらおうと、公園で遊ぶ子供やママたちの視線がはずれてそ
うなタイミングでささっとビニール袋に回収。カラスから横取り気味。
(団員N.M)

朝出勤すると、警備員さんが、「出勤
途中で杭全の交差点の南でタヌキが死ん
でいるのを見ましたよ。」とのこと。す
ぐにポリ袋をひつつかみ、自転車をとば
しました。現場に着いてみると、なんと
パトカーが止まっており、お巡りさん2
人がタヌキを回収していました。すぐに、
「それ標本にするので下さい。」と言っ
たところ、二人は顔を見合わせて何かぼそ
ぼそ、やがて「では署まで来て下さい。」
しょうがないので、東住吉警察まで行き、
そこで、しばらく待たされた後もらって
きました。タヌキの死体は拾得物ではな
くてゴミ扱いだと思うので、すぐにくれ
てもいいのと思った次第です。(顧問T)

自分で見つけて拾ってくるというのではなく、誰かが見つけたのを「そ
れちょうだい」といってもらう場合、とにかく恥ずかしいと思わず、堂々
と申し出ること。(顧問T)

淀川の海老江干潟で保全協会の探鳥会があったのですが、そのとき、
干潟に何か黒いものがあつたんです。もしや、と思って近付くと、案の
定、オオバンの死体。このときは袋が無かったので、参加していた人た
ちに「誰かレジ袋持ってませんか～」と声かけまくって、2～3枚めぐ
んでもらい、無事収容。さらにもう一羽、ホシハジロの死体も発見。2
羽をリュックに入れて観察会を続行。まとめのときに早速披露して、普
段なら双眼鏡かスコープの向こうでしか見れない鳥を、目の前で見ても
らうことが出来ました。かなり腐乱してたのですが、特徴はほとんど残っ
ていたので、じっくり観察してもらえました。(団員H.M)

近木川河口で子猫の水死体を拾い、例のごとくビニール袋に入れ、
リュックにしまった。(団員H.M)

堺泉北港のナガスクジラ。博物館の外に展示しているやつです。朝刊
の隅に乗っていた、「堺泉北港に巨大クジラ」という記事を見て、「ほし
いんですけど」と大阪府港湾局に電話したネイチャー・スタディに書い
たので、それを参照して下さい。(顧問T)